



にしきの つうしん
錦乃通信

Mamiya J.H.S School News

令和6年7月1日(月)

さいたま市立馬宮中学校

令和6年度 第4号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation ・ Confidence to live~

「有意義な夏に」

校長 うえ だ やす まさ
上田泰正

梅雨の中にも暑い日が続いております。早いもので今学期も残すところ3週間余り、地域・保護者の皆様方におかれましては、この1学期、本校の教育活動に御理解と御支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、6月1日(土)から7日(金)まで、運動部の3年生にとって最後の公式大会となる、さいたま市中学校総合体育大会が開催されました。どの部活動も、最後まであきらめることなく、試合に臨んでいました。その結果、ソフトボール部と男子ソフトテニス部個人が県大会に出場することとなりました。活躍を期待しています。県大会出場を逃した部活動の中には、相手と五分の試合の末、惜しくも敗れた部活動もありました。それらに共通していることは、敗れたあとの生徒の目には必ずと言っていいほど「涙」があるということです。その涙の意味は、悔しさもあるかもしれませんが、これまで頑張ってきた自分に対する達成感・充実感のようなものも含まれていると思います。この「涙」や達成感・充実感を今後の生活や進路に向けて生かしてほしいと願っています。

また、6月22日(土)には、体育祭を実施し、素晴らしい入場行進から始まり、クラスが一丸となって競技に臨み、絆を深めていました。地域・保護者の皆様、生徒の活動を御覧いただき、ありがとうございました。

間もなく夏休みとなりますが、学校生活では、夏休みも4月と同じような転機・転換期です。学校総合体育大会が終了し、3年生が引退し、新チームへ移行します。3年生は、下校時刻が早くなり、進路について考える時間が増え、本当の意味での受験(検)体制になります。また、1・2年生はこれまで頼りがいのあった3年生の抜けた穴を埋め、新チームとしての結束、絆を強め、チーム力、組織力を高める時期となります。

人は、大人になる過程で、常に「夢」をもっていると、気持ち安定し、その実現に向けて努力する原動力になります。「夢」の実現のため、10年後の自分の姿を思い描いてほしいものです。時間に余裕のある夏休みを有意義に活用し、夢の実現のために具体的な手立てを自ら見付け、継続してほしいと思います。